

平成28年度1回自然クラブ

出会いの集い

～友情・絆

5月21日(土)～22日(日) 稚内市少年自然の家では今年度1回目の自然クラブ「出会いの集い～友情・絆」を実施しました。今回は小学校4年生から6年生まで34名が参加してくれました。

13時00分から子どもたちは開会式、保護者には1年間の活動や運営方針の説明会を開催しました。その後13時30分から自己紹介と写真撮影をして、14時30分からネイチャーゲームをしました。ネイチャーゲームはフィールドビンゴとカモフラージュの2種類。フィールドビンゴは予め、活動班で自然の家周辺にありそうな自然をビンゴカードに記入してから、実際に外に出て、答え合わせをしました。身近にある自然を考え、全班がビンゴすることができました。次にカモフラージュです。カモフラージュは自然の中に人工物(例えば、鳥の写真)を紛れ込ませ、それを見つけるゲームです。ネイチャーゲームは全員が正解とはなりませんでしたが、ゲームを通して、身近な自然への発見があったと思います。

その後、室内に移動して、遊びリンピック(テイスゲッター)をしました。

<1日目>

<ネイチャーゲーム(フィールドビンゴ)>



<ネイチャーゲーム(カモフラージュ)>



<遊びリンピック(テイスゲッター)>



<遊びリンピック(テイスゲッター)>



<2日目>

2日目は6時30分に起床し、朝食・清掃を済ませた後、9時00分から防災ゲームを体験しました。4月に九州地方に大地震が発生し、テレビを通して地震の恐ろしさや、被災者の方々の大変さを目の当たりにしました。今回、クラブ員には防災ゲームを通して、協力することの大切さを改めて感じてもらうべくこのゲームを企画しました。

最初に「水を確保」を実施しました。このゲームは限られた道具を使用し、バケツからバケツに水を移動させるもので、各班役割分担をしてから、ゲームに取り組みました。

次に「火起こし」を実施しました。現代の日本ではガスコンロやライターなどで簡単に火を使用することができます。しかし、大地震や津波の被害が出た場合には、いずれも使用できなくなる可能性があります。このゲームは、周辺に落ちてる木や枯葉、マツチを使用し班で協力して火を起すゲームです。

2つのゲームを体験してみて、子どもたちから「興味をもった」と多く聞かれ、子どもたちの中に防災意識や協力心が生まれたことと思います。

<防災ゲーム（水を確保）>



<防災ゲーム（水を確保）>



<防災ゲーム（火起こし）>



<防災ゲーム（火起こし）>



<防災ゲーム（火起こし）>



<防災ゲーム（火起こし）>

